

令和6年 第2回 市議会定例会

市長所信表明（要旨）

蕪 崎 市

本日ここに、令和6年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

過日、民間の有識者でつくる「人口戦略会議」において、人口から見た全国の地方自治体の「持続可能性」を分析した報告書が公表され、本市におきましては、2014年の報告と同様、20歳から39歳の若年女性人口における減少率が大きい自治体である「消滅可能性自治体」の指摘を受けました。

前回の発表を受け、様々な取組みを行ってまいりましたが、改めてこの課題に取り組むべく、先月9日リーダー職以上による緊急職員会議を開催し、消滅可能性自治体からの脱却を目指し、意識の統一を図ったところであります。

今回の指摘は、私にとりましても大きな衝撃であり、今後は、このピンチをチャンスと捉え、これまでの取組みを検証するとともに、本年2月に策定した「**蕨崎市デジタル田園都市構想総合戦略**」に基づき、市民の皆様のご意見を伺い、合計特殊出生率の向上、近隣市への転出超過の抑制、女性や若年層に「選ばれるまち」となるための効果的な施策に鋭意取り組んでまいります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、長きに渡り延期・中止などの影響を受けておりました国際交流事業を本格的に再開しております。

まず、先月24日から5日間、韓国チュウセイホクドウヨンドンゲン忠清北道永同郡を訪れ、ワインを通じた交流を深めてまいりました。

昨年秋、同郡の市長職にあたる郡守が本市を視察された際に、招待を受けたものであります。

同郡はぶどうワイン産業特区の指定を唯一韓国内で受けた地域であり、その取組みを参考にして、本市のワインのブランド化事業に繋げてまいります。

また、先月30日から3日間、中国コクリュウコウショウジャムスシ黒竜江省佳木斯市の親善使節団が、友好都市締結40周年及び市制施行70周年記念として17年ぶりに来蕨され、市内企業や小中学校などを視察し、相互理解と友好関係の強化を図ることができました。

なお、今月27日には当市と姉妹都市であるフェアフィールド市から学生を迎える「ホームステイ事業」を4年ぶりに実施し、中学生や高校生はもとより多くの市民の皆様と様々な場面で交流していただき、友好を深める貴重な機会になることを期待しております。

8月5日には、本市出身の文田健一郎選手がパリオリンピック「レスリンググレコローマンスタイル60kg級」に出場いたします。

今月18日には、市役所にお越しいただく予定であり、大会でのご活躍を祈念するとともに、出身校でのメッセージカードやニコリでの応援フラッグへの寄せ書きなど、金メダル獲得へ向け、市民をあげて応援機運の醸成を図ってまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

始めに、感染症対策の強化についてであります。

新型コロナウイルスワクチンの予防接種につきましては、昨年度まで無料で実施しておりましたが、本年度から定期接種として費用負担が生じることになりました。

ワクチン接種が感染防止対策に効果的であると言われておりますので、65歳以上の方と60歳から64歳の重症化リスクが高い方の接種費用を半額助成するため、今議会へ予算計上をしております。

次に、防災体制の強化についてであります。

今月16日の総合防災訓練では、全国各地で大規模な水害が発生している状況から、台風などの水害を想定し、昨年度に引き続き、マイ・タイムラインの作成と活用を意識した避難行動の確認、指定避難所での情報伝達訓練等を実施いたします。

特に、洪水・土砂災害ハザードマップにおける該当地区につきましては、浸水を前提とした行動を促し、分散避難による道路や避難先の状況把握を実施してまいります。

なお、秋の防災週間の9月1日には、大規模地震を想定した総合防災訓練を予定しているところでありますが、最近、全国各地で地震が頻発しておりますので、市民の皆様には常に災害の備えなど「自助・共助」について、改めて認識を深めていただきますようお願いいたします。

次に、子育て環境の整備についてであります。

葦崎市こども計画の策定につきましては、子どもや子育て当事者等への意識調査のため、「子ども・子育て会議」での審議を経て、アンケート調査を実施する予定であり、子どもの権利の啓発と条例の制定に向けましては、今後、ワークショップを開催いたします。

また、子育て世帯の負担軽減につきましては、保育所等に入所していないお子さんを持つ保護者の方が、短時間勤務やリフレッシュ目的での一時預かりを利用しやすくなるよう、今月下旬より子育て支援センターで新たな託児サービスを開始してまいります。

次に、学校教育の充実についてであります。

本年４月に全小中学校において、学校運営協議会を開催し、基本方針や年間計画についてのご意見と承認をいただき、「地域とともにある学校」への転換の第一歩を踏み出したところであります。

今後は、年間を通して授業や行事への参画を促進するとともに、市内外の事例を紹介する研修会の開催など、地域で子どもの成長に関わる体制づくりを推進してまいります。

また、地域部活動につきましては、先月末に、中学校のＰＴＡの代表、校長やスポーツ団体の代表等からなる「部活動地域移行協議会」を設置するとともに、コーディネーターを中心に、部活動顧問へのヒアリングを行うなど休日の地域移行に向けた取組みを開始いたしました。

今後は、生徒へのアンケート調査を通じ、ニーズの把握を行うとともに、指導者の確保や運営体制の構築など、東中学校での実証事業を通じた仕組みづくりを進め、生徒がスポーツに継続して親しめる環境整備と教員の負担軽減に繋げてまいります。

次に、自然環境の保全についてであります。

先月１１日には、特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除活動を行い、多くの参加者により、国道２０号線沿いで約９５０キロを駆除することができました。

ご協力をいただきました国土交通省をはじめ、市議会議員、育成会などの皆様には、心より感謝申し上げます。

今後も特定外来生物の啓発事業を継続するとともに環境保全への認識を深める取組みを実施してまいります。

また、昨年４月より市役所庁舎裏に常設拠点リサイクル会場を設置し、多くの市民の皆様にご利用いただいておりますが、缶類、瓶類をはじめとした総収集量も前年比で約１０トン増加いたしました。

今後も常設リサイクル会場の周知を図り、資源リサイクル品の搬出機会の創出拡大につなげ、持続可能な循環型社会の構築を図ってまいります。

次に、公園整備の充実についてであります。

葦崎中央公園のアスレチック広場において、ナラ枯れの被害が発生し、先月より一部閉鎖して樹木伐採及び駆除作業を実施しております。

公園の安全管理上、利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

また、同公園の「ＥＦ１５形電気機関車」につきましては、現在、再塗装などの修復を実施しており、完了後には、オープニングセレモニーを行い、昨年度、リニューアルしたちびっこ広場とともに、多くの方々に愛される本市の人気スポットになるよう努めてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

平成26年に登録された南アルプスユネスコエコパークが10周年を迎える本年度、山梨県、長野県、静岡県の10市町村で組織される「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」の会長に就任するなか、先月23日に東京エレクトロン 荳崎文化ホールにおいて、協議会主催の事業である記念講演のほか、荳崎高校書道部による書道パフォーマンス及び荳崎工業高校太鼓部による演奏などを実施し、10周年の機運を盛り上げたところであります。

さらに、8月24日、25日には、県内4市町による記念イベントを開催する予定であり、ユネスコエコパークへの理解を深め、さらなる山岳資源の保全と観光振興に取り組んでまいります。

次に、健全な財政運営の推進についてであります。

施設の安定的な維持管理とともに、施設の魅力の向上を図るため、ネーミングライツ導入に関するガイドラインを策定しましたので、対象施設等を拡大し、新たな自主財源の確保に努めてまいります。

次に、積極的な情報発信についてであります。

シティプロモーションにつきましては、昨年に引き続き、効果的なマーケティングを行うための協議を市民や職員ワーキンググループとともに進め、SNS等各種媒体の特性に応じた情報発信をすべく庁内のプロジェクトチームを立ち上げ、積極的な推進を図ってまいります。

次に、市制施行70周年記念事業についてであります。

4月6日には「武田の里ウォーク 新府桃源郷コース」を開催し、ゲストに元スピードスケート選手の岡崎朋美さんと山梨クイーンビーズの選手を迎え、桃の花や菜の花が広がる美しい景色であるコースに小学1年生から87歳までの総勢740名のご参加をいただきました。

また、先日放送されましたNHKのど自慢や紙兎ロペとコラボし70周年をアピールした動画制作など、多くの記念事業を展開しておりますが、8月11日には東京エレクトロン 荳崎文化ホールにおいて、箱根駅伝で総合優勝を果たしました青山学院大学陸上競技部・長距離ブロック監督の原晋氏をお招きし、講演会を開催いたします。

全国屈指の強豪チームを築き上げ、7度目の栄冠を手にした名将、原監督のご講演により、市民の皆様がスポーツの持つ可能性とチームワークの重要性を改めて感じていただく機会となりますことを期待しております。

恒例の夏の花火大会につきましては、先人への感謝と未来への願いをテーマに、規模を拡大した特別プログラムで実施し、観覧に訪れる皆様にとってより一層心に残る大会としてまいります。

さらに、10月12日には記念式典を挙行するとともに、名称を「フェスタ 荳崎」から「荳崎市制祭」に改め、6年ぶりに本町通り及び駅前通りを会場として、

新たな時代の彩りを加え、訪れる方々の心に残るよう様々なイベントを企画しているところであります。

1年を通して節目の年を祝うとともに各種事業を弾みとして、元気で幸せを実感できるまちづくりを「チーム葦崎」で取り組んでまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

|       |          |
|-------|----------|
| 報告案件  | 9件、      |
| 予算案件  | 2件、      |
| 条例案件  | 6件、      |
| その他案件 | 2件であります。 |

まず、令和5年度予算の専決事項についてであります。

3月補正予算編成後において、地方譲与税及び特別交付税等の交付額や各種事業費の確定により、4,742万2千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第9号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、令和6年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

まず、総務費であります。

児童手当の制度改正に対応するため、人事管理費に70万4千円、まちづくり活動補助金の申請団体増加見込みに伴い、まちづくり活動推進事業費に150万円を追加し、総額220万4千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

物価高騰対策として、今年度新たに住民税非課税及び均等割のみ課税となる世帯に支援金を給付するため、くらし応援臨時特別給付金給付事業費に410万円、子育て世帯物価高騰対策臨時支援事業費に350万円を計上するなど、総額1,609万2千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

新型コロナワクチンの定期接種に係る助成経費として、予防接種事業費に4,941万6千円を追加するなど、総額5,054万3千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

農業団体に対する機器購入費の補助として、農業団体育成事業費に42万2千円を追加計上しております。

次に、商工費であります。

市内に新たに工場を建設した地元企業に助成金を交付するため、企業立地支援事業費を1億2,922万8千円増額補正しております。

次に、消防費であります。

武田八幡宮消防ポンプ入替や消防団活動に係る物品購入経費など消防施設維持管理費に８３３万２千円、自主防災組織の活動に要する資機材購入経費として、災害対策事業費に２１１万８千円追加し、総額１，０４５万円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

県道の道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査経費として公共事業埋蔵文化財確認等調査事業費に２３８万９千円を追加するなど、総額２６０万８千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、２億１，１５４万７千円を増額補正となり、現計予算額は、１８３億１，７５４万７千円となります。

次に、特別会計であります。

国民健康保険特別会計におきまして、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う経費を追加するため、総額５３６万８千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

令和６年６月６日

荏崎市長 内 藤 久 夫